

# 紀州まるごとツアー

8月1日(月) ~ 8月3日(水)

IN 和歌山県立潮岬少年自然の家

	午前	午後	夜
1日目	施設向け出発 白良浜遊び	石拾い 施設到着	夕飯づくり 振り返り
2日目	くじらの博物館見学	イルカスイム体験	お楽しみタイム 振り返り
3日目	清掃・施設出発	お土産購入タイム メロン狩り・食べ放題	

**一日目:** 空は真っ青で最高の天候です。尼崎に全体集合した後、紀州へ向かいました。向かう道中でしっかり友達と談笑を楽しみ、関係を築いておられました。途中のサービスエリアにて昼食を済ませ、初めの活動場所“白良浜”に到着しました。浜はとても美しく、海は澄み渡っており、最高の浜辺で存分に海遊びを堪能されていました。海から戻ってきた時の表情から大満足の様子が伺えました。白良浜からしばらく進み、次に“志原海岸”に到着しました。ここに落ちていた石は特徴的で、全て丸の形をしています。その石を使って、毎夜振り返りをします。夕方に施設に到着しました。先にお風呂に入り、施設の職員さんからオリエンテーションを受け、夕飯を買いに出掛けました。近くのスーパーに買い出しに行き、各々大好きなものを購入し、美味しくいただきました。夜は志原海岸で拾った石を使って、【ストーンペインティング】を行いました。今日一日で一番思い出に残っている光景を描きました。それを皆で発表しあいました。明日はより素敵な思い出をつくりましょう。



**二日目:** 朝から楽しい気持ちで強く、元気な声が施設内に響いていました。朝食はキャンプ定番の【パックサンド】をつくりました。定番なので、メンバーの中には何度も作った事がある方もおられたので、皆に教えている様子が伺えました。今日は一日遠足の日です。午前中はイルカと一緒に泳ぐ体験をし、午後はくじらの博物館見学です。イルカと一緒に泳ぐ体験では、これまでイルカを間近で見たことがなかった方が多く、目の前のイルカの大きさに驚いていました。しかし、徐々にイルカ達との距離も縮まっていき、背中をさすったり、一緒に泳いだりして関係を築いていきました。昼食をはさみ、午後からはくじらの博物館に行きました。館内の剥製や、模型、捕鯨に使う機器の実物を見たり、屋外では、イルカやくじらのショーを楽しみました。くじらのジャンプは迫力が凄く、一同歓声が上がっていました。終盤にはお土産を購入する時間を設けました。ここでしか販売されていないキーホルダーや文具、ぬいぐるみを購入されており、帰り際には自慢気に見せてくれました。施設に帰る車内ではお疲れの色が見え、よく休んでおられました。夕飯は皆でビュッフェ形式にして、料理を作りました。最後の夕飯としては楽しく過ごすことが出来ました。振り返りでは、イルカやくじらの内容を描かれており、発表でも楽しそうに話されていました。皆、最高の思い出を作っていただけかと思えます。



**三日目:** 朝から荷物の片付けと部屋の清掃を行いました。合間に朝食を挟み、皆でテキパキされていました。出発まで少し時間が出来たので、プールに入りました。起床時よりせせと動いていたので、日照った体にとっても染み込み、気持ち良さそうでした。出発時間となり、施設の方に挨拶をして出発しました。途中、潮岬の記念碑に寄り、写真を撮りました。最後のお土産購入の為に“とれとれ市場”に向かいました。和歌山県のお土産が一同に揃っており、どれがいいか悩んでいる様子でした。財布の残金と相談しながら、上手に買い物をされていました。お土産の買い物を済ませると、最後のプログラム、【メロン狩り・食べ放題】です。まずはメロン狩りをしました。自身の顔と同じくらい大きく、重たいメロンを切り取った時、とても嬉しそうでした。そして待ちに待ったメロン食べ放題です。よく冷えて、熟れたメロンは甘くて美味しく、何度もおかわりされていました。こうして全ての行程を終えて、尼崎に向かいました。帰りの表情は皆、疲れと満足が交じった素敵な表情でした。



## <キャンプ総括>

“紀州まるごとツアー”は他のキャンプに比べて、活動場所が転々としており、あまり施設にすることがありません。施設にいとプログラムの合間は休憩をしたり、談笑を楽しんだりされます。移動中の車内で談笑を楽しまれています。休憩を取る事はあまり出来ません。なので、「他のキャンプよりも疲れるのだろうか。」と、メンバーの様子を見て感じました。楽しいことが次々とやってくる事は、一概にメンバーにとって全てがプラスに働くわけではありません。合間の休憩を挟み、プログラムに緩急を付けることで、メンバーが活動に対してより集中を向けられます。来年も同様のプログラムを実施致しますが、【休憩】を重きにおき、より思い出深い活動を提供できるように工夫して参ります。ご参加いただき、ありがとうございました。(竹中 哲郎)